なかよしる一む・なかよしミニの募集についてのお知らせ

平成27年度のなかよしる一む(2歳児クラス)となかよしミニ(1歳児クラス)は下記の予定で受付をします。

記

- 1. 開講目的 低年齢時より、友達や人とふれあい、一緒に遊ぶ楽しさを体感する。 親同士の親睦をはかり共に子育ての悩みを語り合う場の提供をする。
- 2. 対象年齢

なかよしる一む(2歳児クラス)

平成 24 年 4 月 2 日~平成 25 年 4 月 1 日までの生まれ (2 グル・プ) 予定 1 グル・プの人数は 12 人程度です。(**先着とさせていただきます**)

なかよしミニ (1歳児クラス)

平成 25 年 4 月 2 日~平成 26 年 4 月 1 日までの生まれ (2 グル・プ) 予定 1 グル・プの人数は 12 人程度です。(先着とさせていただきます)

- 3. 内 容 ①毎月1回程度親子登園をします。1回目は、6月初旬を予定しています。
 - ②時間は10時00分から11時30分の約1時間30分程度です。
 - ③料金は実費(名札代140円)のみ徴収させていただきます。
 - ④なかよしる一むは、6月に親子で花植えをしますので、材料費 100円を 徴収いたします。
- 4. 申込方法 ①**5月8日(金)14時より**受付開始します。 (受付用紙は保育園に準備しています。)

②受付は土曜、日曜、祝日は、致しません。

時間は、**14時~17時**となっています。 ※定員になり次第終了させて頂きます。



●問い合わせ先 TEL 31-6877 (三光保育園 : 鬼塚)



シニアサロンぽぽら」をご存知ですか?

地域子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方におこし頂き楽しい ひと時を過ごしています。お茶とお菓子を頂きながらおしゃべりをしたり、園児との交流を 楽しんだりして頂きます。奮ってご参加下さい。

5月27日(水)10時から12時

内容:牛乳パックでカゴを作りましょう!!

場所:さんこう・ぽぽら

※お電話でお申し込み下さい。31-6877



♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時~16時までは、西九大短大部教員による、食育相談を行っています。事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。(31-6877)



遊びの中で体を鍛えましょう

幼稚園では先日森林公園に遠足に出かけました。春の遠足は親子一緒に出掛け、新しいお友達やおうちの方が仲よくなる機会にもしています。今年は市内の小学校2~3校とも重なり、森林公園の遊具は人でいっぱいでした。そんな中、年長さんがロッククライミングに何度も何度も挑み、登りきると満面の笑みで私にガッツポーズをしてくれました。そこへ小学生の集団がきて挑み始めました。3~4年生だったと思いますが、校長先生が下から支えて「右の足を・・、そしたら左足を・・」と丁寧に教えている光景を見かけました。するすると登る子もいますが、結構苦戦している子も見かけました。腕の力が未発達なのかなぁ~?と考えながら見ていた次第です。幼児期は手足や体をいっぱい使って遊び、走ったり転んだりして体は鍛えられ、身体の機能も強くなります。子どもの手は「突き出た脳」、足は「突き出た心肺」とも言われ、手足を使って十分に遊ぶことはとても大切です。



「なかよしミックス」に遊びにきませんか!

就園前までのお子様と保護者の方が一緒に参加して親子で楽しく遊ぶ集いの場です。 ★第2回目の5月は、

日時 5月19日(火)10:00~12:00

5月21日(木)10:00~12:00

内容:母子一緒にエアロビで体を動かして楽しむ

持ってくる物:コップ 場所:さんこう・ぽぽら

※駐車場は三光保育園からお入り下さい。事前のお申し込みが必要です。

(いずれの日も先着16組の親子)

※電話の受付は、平日の9:30~17:00 までにお願いします。

「フリーデイ」にもどうぞ!

日時:5月14日(木)10:00~12:00 -13:00~16:00

5月15日(金)10:00~12:00

お好きな時間にお出かけ下さい。

場所:さんこう・ぽぽら

子育て便り 寄稿:西九州大学・西九州大学短期大学の窓から

子育てだより

「イヤ!は成長の証」

西九州大学子ども学部 心理カウンセリング学科准教授 利光 恵 お子さんが 2 歳の誕生日を迎える頃、それまでは親御さんからの言葉かけに笑顔で応えていた行動が急変します。「お風呂入ろうか?」『イヤ!』「一緒に行こう?」『イヤ!』。あんなに素直に嬉しそうに言うことを聞いていた我が子が、急に何に対しても『イヤ!』とつっぱねると、親御さんは大弱りですよね。この、親御さんの誘いや提案に対して何でも『イヤ!』と言う時期のことを、【第一次反抗期】と呼びます。日々我が子の『イヤ!』にお付き合いしなければならない親御さんにとっては、イラッとさせられてしまったり、(自分の言い方が悪いのかなぁ…)と子育てに自信を失わせたりする行動だと思います。

しかしこの【第一次反抗期】は、子どもの心がとっても大切な成長・発達を遂げていますよ!というサインなのです。

0歳から1歳までの子どもは、親御さんが生活の全てに手助けをしないと生きていけない 状況で日々を過ごしていきます。言葉もまだ出ない時期なので全て泣くことで要求を示す しかできません。親御さんはお子さんの泣き声を聞いたら、自分がしていることを中断し てお子さんの元に駆けつけ、優しい声で話しかけながらお子さんの要求を探し出し不快さ から解放に導いてあげます。お子さんからすると、親御さんは自分の要求をズバリ分かっ てくれるので、一心同体のような存在として親御さんを感じています。

しかし、1歳から2歳までの時期になると、自分で歩いて行きたいところにいけるようになります。また手先も以前に比べると急速に器用になり、興味ある物を自らつかみ使ってみるようになります。さらに言葉も話せるようになるので、自分の要求を自分の言葉で伝えることができるようになります。こういった運動面やおしゃべりができるようになることで、お子さん自身が(自分でできる!)という自信を抱けるようになる訳です。それまでの一心同体だと思っていた親御さんと自分の関係は、実は別々の人間なんだということが分かるようになる時期です。そのため、自分の意見を親御さんに伝えたいと【自己主張】を行うようになるのです。しかし多様な言葉をまだ持ち合わせていないため、親御さんからの提案に『イヤ!』という言葉で主張を表現する、それが【第一次反抗期】です。

自主性が順調に芽生えていることを示す大切な行動なので、(我が子がよく育っている証拠) と優しく見守ってあげて下さいね。

食育便り

「美味しいミルクとネパールの保育園児」

西九州大学健康栄養学部健康栄養学科教授 横尾美智代

4 月が終わり新入園児をお持ちの保護者の方は登園時のハラハラ、ドキドキ感が少し落ち着かれた頃でしょうか。お友だちと遊ぶわが子の姿にホッとされている頃かもしれません。これから私がお話しするのはネパールという貧しい国の保育園と園児のことです。

毎年、私は途上国に関心を持つゼミ生を連れてネパール へ学びの旅に行きます。今年は 5 名が参加しました。実 習先はジョティ・ケンドラ保育園です。この園は貧困家庭



の保護者が昼間安心して子どもを預けて仕事に専念できるようにとの目的で、日本人シスターの川岡俊子先生が十数年前に設立されました。ネパールという国はアジアでも最貧国の1つです。1日働いてもその日のご飯がやっとという家庭も珍しくありません。1日1食の家庭、子どもが家計を助けるため小学校を中退する家庭もあります。そのような環境での川岡先生の保育園の保育料はわずかですから、日本からの支援物資が重宝されています。園児のエプロンはお古のタオル、コップは機内食用のお古等、切り詰めた運営の中であっても園児の食事だけは別扱いです。

「手作りのものを、美味しいものを」という方針のもと、昼は野菜と豆をたっぷり使った食事、お昼寝後はホットミルクとおやつです。成長期には栄養価の高い充分な量の食事が大切ですが、川岡先生のもう一つの目的は「味覚」です。「園児の家庭は食べられさえずれば何でもいいという考え。だからこそ園で美味しいという味覚を育てたい」と言われました。特にミルクは店で買うと水で薄めた粗悪品が多いため、園では郊外の酪農家と契約し直接届けてもらっています。その味は濃く美味しく滋養に満ちていて、私自身ミルクが美味しいと感じられたのは日本ではなくネパールでした。

高級な食材を与えるということではないのです。日々の営みの中でささやかだけれど優れた素材の味を通して、子どもたちが「美味しい」という感覚を覚えて成長することで、生涯を通じて食生活を大切にする人になってほしいという川岡先生の期待が、ミルクの味に込められているように思いました。これは途上国に限らず全ての子どもに通じることで

しょう。

しかし問題もあります。今春、園で実習中のゼミ生が ミルクがコップに半分しか入っていないことに気づきま した。昨今のインフレでミルク代が高騰しているようで す。「ミトチャ! (美味しい意のネパール語)」と笑う園 児のコップを満たすアイデアを読者の皆さまにご一緒に 考えて頂ければと存じます。